地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	千葉県地域住宅計画（第三期、第四期）
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	第三期（千葉県ほか3市） 第四期（千葉県ほか22市町村）
④計画期間	第三期（平成28年度～29年度） 第四期（平成30年度～32年度）
⑤計画の目標	公営住宅の整備や民間賃貸住宅の活用を行うなど住宅セーフティネットの確保を図るとともに、千葉県住生活基本計画に掲げた「県民の豊かな住生活の実現」を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	計画策定主体である千葉県が独自で実施。（令和3年3月）
⑦事後評価の結果	<p>指標1：「住生活に関する満足度」 定義：千葉県における住生活全般の満足度 （満足度＝「大変満足」＋「まあ満足」の割合） 評価方法：県政に関する世論調査 結果：従前値：60%（27年度）⇒目標値：増加（32年度）⇒<u>実績値：73%</u> 結果の分析：計画通りに事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。</p> <p>指標2：「既存県営住宅の更新」 定義：昭和50年以降に建設した県営住宅の戸数/県営住宅の戸数 評価方法：事業実績による集計 結果：従前値：66%（27年度）⇒目標値：68%（32年度）⇒<u>実績値：68%</u> 結果の分析：計画通りに事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。</p> <p>指標3：「既存県営住宅の高齢化対応改善実施率」 定義：共用階段に手摺が設置されている県営住宅の戸数/階数3以上の県営住宅の戸数 評価方法：事業実績による集計 結果：従前値：95%（27年度）⇒目標値：100%（32年度）⇒<u>実績値：98%</u> 結果の分析：公営住宅ストック総合改善事業により、高齢化対応改善を実施し、取り組み成果は上がっているが、目標値を僅かに下回った。</p> <p>指標4：「市町村住生活基本計画策定市町村数」 定義：市町村の住生活基本計画を策定した市町村数 評価方法：市町村の住生活基本計画の策定状況調査 結果：従前値：12市町村（27年度）⇒目標値：増加（32年度）⇒<u>実績値：13市町村</u> 結果の分析：計画通りに事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。</p> <p>指標5：「空家等対策計画策定市町村数」 定義：市町村の空家等対策計画を策定した市町村数 評価方法：市町村の住生活基本計画の策定状況調査 結果：従前値：1市町村（27年度）⇒目標値：増加（32年度）⇒<u>実績値：32市町村</u> 結果の分析：計画通りに事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。</p>
⑧結果の公表方法	千葉県のホームページに掲載
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢の変化等に対応するため、「千葉県住生活基本計画」等の諸計画を踏まえ、第五期計画においても継続して、公営住宅の整備や民間賃貸住宅の活用を行うなど、住宅セーフティネットの確保を図る。 ・指標については、第四期計画での目標値はほぼ達成されている状況であるが、100%等ではないことから、同様の指標を引き続き採用する方針とする。
⑩その他	特に無し

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。